

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月15日

【評価実施概要】

事業所番号	2970103046
法人名	医療法人健和会
事業所名	ふれあい秋篠
所在地	奈良県奈良市中山町1146-1 (電話) 0742-40-2105
評価機関名	奈良県国民健康保険「団体連合会」
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1
訪問調査日	平成19年11月14日

【情報提供票より】(19年10月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 4 月 7 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 8 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	11.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	1 階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	4,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(350,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,600円	

(4) 利用者の概要(10月29日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	10 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85 歳	最低	70 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人健和会 奈良東病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理念の通り利用者の気持ちを中心にゆっくりとした時間が流れているのが感じられます。利用者を最後まで看取る積極的な姿勢が見られます。環境は良いが、地域から少し離れた場所であることから周囲との交流を広める努力をされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題であった、認知症ケアの啓発・広報や職員の食事を共にすることについて改善に取り組まれています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を記入するにあたり、運営者、管理者、職員の意見を聞き、評価の実践に取り組んでおられます。評価により見出された課題について、改善計画シートを作る等、職員全員でその実施に取り組まれることを期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議でサービスの実際や評価の取り組みについて報告し、意見を聞いておられます。委員からの意見により、家族会を立ち上げる等サービスの向上に活かされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月の利用料の請求と共に利用者の日常の様子や、ホームのこと等について、写真と報告書を送られています。また、家族等の面会時には出来る限り情報提供されています。金銭管理も一定のルールを決めて、家族に報告されることを期待します。家族の面会時には職員が必ず声をかけ、意見や苦情を聞き、職員会議で検討し、運営に生かしておられます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会に所属し、地域の行事にも参加し、幼稚園との交流もあり、ピアノコンサートを開催場所を開放したりと、さまざまな行事を取り入れて、地域との交流に努めておられます。

2. 評価結果(詳細9)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症高齢者が家庭的な雰囲気の中で自由にゆっくりスタッフと共に暮らせる支援を理念とされています。		地域密着型サービスの意義を職員で確認し、地域生活の継続と事業所と地域の関係強化を謳った理念を作り上げられることを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日のミーティングにおいて話し合いその実践に向けて行動できるよう努められています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に所属し、地域の行事にも参加し、幼稚園との交流もあり、ピアノコンサートに開催場所を開放したりと、さまざまな行事を取り入れて、地域との交流に努めておられます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を記入するにあたり、運営者、管理者、職員の意見を聞き、評価の実践に取り組んでおられます。		評価により見出された課題について、改善計画シートを作る等、職員全員でその実施に取り組まれることを期待します。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でサービスの実際や評価の取り組みについて報告し、意見を聞いておられます。委員からの意見により、家族会を立ち上げる等サービスの向上に活かされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市には何度も足を運び、連携を密にしておられます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の利用料の請求と共に利用者の日常の様子や、ホームのこと等について、写真と報告書を送られています。また、家族等の面会時には出来る限り情報提供されています。		金銭管理も一定のルールを決めて、家族に報告されることを期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時には職員が必ず声をかけ、意見や苦情を聞き、職員会議で検討し、運営に生かしておられます。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動がある場合、引継ぎ期間を儲け、利用者になじみづつ慣れて頂けるよう配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部の研修を受ける他、外部研修も参加出来るようにされています。		計画的な研修プログラムの作成が望まれます。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の他のグループホームとの交流と研修会を開催しておられます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用後、家族との協力体制で、本人の状態に合わせて徐々に馴染めるよう工夫されています。</p>		<p>馴染みの関係が出来ないまま、いきなりサービスの利用を開始することは本人に様々なダメージをもたらしますので、サービスの利用開始前から本人が職員や他の利用者、サービスの場に徐々に馴染み、安心し納得してサービスを利用できるよう体験利用を取り入れる等工夫されることを期待します。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の意見、気持ちを大切に、スタッフは教えてもらう事の多さを認識されています。</p>		<p>一緒に過ごし喜怒哀楽を共にする関係は、孤独に陥りがちな利用者の安心と安全を生み出し、本来の個性や力、どう暮らしていきたいかの意向を知るためにも不可欠であり、地域密着型サービスの根幹となる関わりですから、ケアのあり方について検討されてはいかがでしょうか。</p>
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎日の暮らしの中で、本人の希望や意思の把握に努め、困難な場合は、家族に話を聞く等されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプランは担当職員が立案しケース会議で家族と共に話し合い、介護計画を作成されています。</p>		<p>ケース会議は家族と向き合える時間が少ないので、家族の協力を呼びかける取り組みが望まれます。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の遂行状況、効果などを評価するとともに、職員が記録する利用者の状態変化や状況、家族・本人の要望に応じて見直しが行われています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者と家族の要望には出来る限り柔軟に対応されています。		地域密着型サービスとしてのグループホームの多機能性とは、地域の認知症高齢者や利用者と家族が安心して暮らし続けていくために必要な支援(機能)を、介護保険サービスや自主サービスを活かしながら提供して支援するものです。利用者への柔軟な支援はもとより、認知症対応の居住環境や職員の機能を活かして、近隣の高齢者が状況に応じてショートステイやデイサービスを利用できるよう支援することを検討されてはいかがでしょうか。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、本人及び家族の意向を大切にして受診できるよう支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応指針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行い方針を共有されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の守秘義務は、その必要性を認識し、全職員に徹底を図られています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての日課はありますが、一人で過ごす事が好きな利用者は自由に自分のペースで過ごし、料理や生け花の好きな人には、その時々やっってもらうように、希望に沿って対応されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は準備の時から参加してもらい、食卓にはスタッフも共に座り、会話をしながら楽しんでおられます。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応週2回の設定をされていますが、利用者の希望に合わせて入浴出来るよう支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	月1回の習字はボランティアと共に開催し、百人一首や歌唱など、これまでの経歴や趣味などを生かした楽しみ事を計画し支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	すぐ近くの神社の森へ自由に散歩にける他、希望があれば車で外出や誕生日には個人で外出できるように支援されています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は施錠されておらず常に開けられています。各ユニットの真ん中に事務所があり、出入りが良くわかるようにされており、職員は利用者の行動を把握し見守っておられます。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練は月1回行い、セコムや火災報知器を設置されています。近隣の家主に連絡し自警団にも協力を得られるよう声をかけられています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスは毎日の献立により、本部の栄養士に確認されています。水分摂取は記録をチェックし、ケアプランに盛り込み支援されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下には利用者の作品や写真が飾られ、居間にはソファがあり、窓からは明るい日差しが入り、テーブルには季節の花が活けてあります。コタツもあり、家庭的な空間が整えられ、居心地よく過ごせるよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	戸棚や椅子又はテレビ等、家族が本人と相談しながら、馴染みのものを持ち込まれています。家族は自由に共に過ごし、泊まることも出来るように工夫されています。		